

NEW FACE 協議会メンバー紹介



新入会員の三浦敬一です。令和6年3月に南牧村に移住しました。現在は下仁田のピースフル群馬に勤めています。よろしくお願ひいたします。

地域資源を生かしたジビエの事業をされているご夫婦②協力隊から役場職員になり、なんもくふれあいテレビディレクターをさ正在する男性

③改修した古民家で占いや陶芸体験ができる民泊を経営されている女性

④UTAーンで起業し、出張ヘアカットサービスをさ

予告
アメリカから映画クルーが
来る？！

今年の2月下旬から3月上旬にかけて、南牧村を舞台にしたドキュメンタリー映像制作チームがアメリカから来村します。日本の地方における少子高齢化の現状と地域再生の可能性をテーマです。（協議会事務局）

に、取材を行うとのことです。また、2月28日に行われる協議会主催の移住者交流会も取材予定です。南牧村を取り上げたドキュメンタリー映画の完成が、とても楽しみです！

ぐんま移住＆交流フェア2025に出展

「村唯一の自分になろう」をテーマに、村で活躍する移住者を紹介

令和7年11月
16日、群馬県主催の「ぐんま移住＆交流フェア2025」に参加しました。場所は、東京都千代田区有楽町の東京交通会館内のふるさと回帰支援センターです。移住相談会で出張するのは私自身初めてで緊張しましたが、来場者に南牧村に移住する魅力をお伝えすることが出来たと思います。

今回のイベントでは、各市町村の移住相談ブース、県関係団体ブース、ワークショップブース、本県知事と移住者のトークセミナーなどがあり、それぞれとても盛り上がっていました。イベント全体での来場者は、324組、478名にのぼり、そのうち7組10名の方が南牧村ブースに来てくださいました。南牧村を目当てにピンポイントで相談に来てくれた方や、都市部に近いからという理由で群馬県西毛エリヤで検討されている方、田舎暮らしに強い憧れのある方など、様々な目的をもつた方がいらっしゃいました。

また、市町村のブースを3つ以上相談すると特典がもらえるとスタンプラリーも開催されたので、例年より多くの方が南牧村ブースに立ち寄ってくださいました。南牧村ブースでは「村唯一の自分になろう」をテーマに掲げ、村で起業や就職し、活躍している次の4組の移住者を紹介しました。



南牧村ブースでは、村で活躍する4組の移住者を紹介

南牧村ブースでは、村で活躍する4組の移住者を紹介

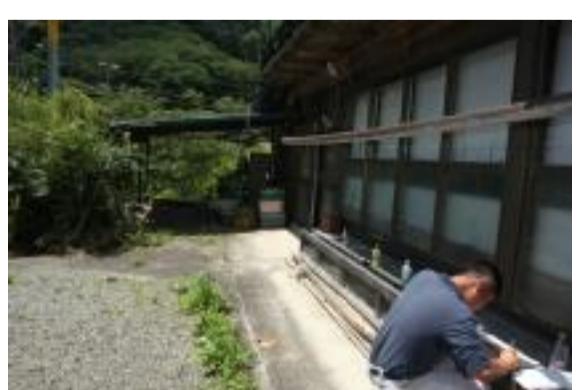
フェアに出展した群馬県の自治体の方々



フェアに出展した群馬県の自治体の方々

空き家内部調査の話

れも造りが違います。しかも古民家が多く使っている材料の寸法がばらばらで、書くのは簡単ではありません。最後になつて描き直すこともしばしば……。



間取りの図面を作成中

空き家内部調査の話

たんまく
木村
じゅうし
通吉

2026(令和8)年2月発行
通巻第45号(冬季号)

発行責任者・発行元：
なんもく山村ぐらし支援協議会
問合せ：南牧村役場
　　移住・定住課
　　協議会事務局
電話：0274-87-2011(代)
紙面編集・松林、真柳



協議会ORコード

協議会HP
<https://nanmoku.org/>
活動内容や各種情報を

【空き家問合せ件数】
R7年7~12月（前回比）

電話： 10件 (-1)
(7月 1件)
(8月 3件)
(9月 1件)
(10月 3件)
(11月 1件)
(12月 1件)

メール等：25件 (-1)
(7月 0件)
(8月 5件)
(9月 4件)
(10月 2件)
(11月 6件)
(12月 8件)

現地見学：41件 (+22)
(7月 2件)
(8月 8件)
(9月 3件)
(10月 6件)
(11月 20件)

【協議会ウェブサイト
訪問・閲覧数】
7/1-12/31（前回比）

会員からの投稿

～陶芸作家として生まれ育った南牧で暮らす～

南牧村でのインターンシップを終えて

移住・定住課で受け入れを行う、大学生が南牧村の移住対策の状況を理解・体験する短期間のインターんプログラム（職場体験）に金井くるみさんが参加されました！

9月10日から2日間、南牧村でのインターんシップに参加しました。私は高崎市に在住していますが、父が南牧村出身で祖母も南牧村に住んでいます。インターんシップでは、なんもく山村ぐらし支援協議会の空き家調査や、体験民家の清掃を行いました。



線ヶ滝にて元気いっぱいな金井さん

で、今は陶芸作家として活動しています。

昨年檜沢attyのアトリエを本格始動し、民泊「Matty's Atelier」の古民家の宿泊客を対象に陶芸体

がきっかけで、今は陶

田で陶芸を学んだこと

が前に下仁

続いたいと

南牧に住み

た。5年ほど前に下仁

健やかな美と温もりです。

民泊での陶芸体験は、お客様の作りたいものを聞いてから、作り方を教えてい

くというフリースタイル型です。主に、お客様の作品の研磨や洗浄、焼成（しうせい）や釉掛け（うわがけ）をしていますが、隙間時間に自分の作品作りや釉薬（ゆうやく）の研究をしています。

難しくまだ失敗ばかりですが、いつか完成させます。今後も、

南牧村で陶芸活動を続けていきたいです。

(岩崎寄稿)



なんもく学園での出張陶芸体験教室の様子



岩崎さんの想いのこもった作品

なんもく学園紹介セミナーを開催しました！



学園紹介セミナーの様子



昨年3月にオンラインで開催した内容を大幅にアップデートし、今回は希望者が現地で見学もできるようになります。

申込みは8組18名あり、そのうち4組11名が当日現地で参加しました。セミナーでは、初めて南牧村の概要を紹介した後、なんもく学園教育の最先端！なんもく学園ってどんな学校！？学校紹介2025」を開催しました。

主任の尾高先生とALTのAlice（アリス）先生が授業の様子を写真で詳細に紹介し、魅力を伝えてくれました。最後に、なんもく学園に通うための移住までのステップを具体的に説明しました。

参加者の皆さんはなんもく学園の教育内容に関心が高く、終了後のアンケートでは「地域との関わりの多さ」「先生と生徒が近い形で、学べる環境」「先生の目が行き届きやすいこと」が、協議会の皆さまが丁寧に優しく指導してください、ありがとうございました。

なんもく学園の入学を希望されても、実際に移住するまでには時間がかかりますが、種まきの時期と考え、来年度も開催を検討しておられます。今後も地道に活動を続けていきたいと思いまだきました。

(大井川寄稿)

なんもく学園の入学を希望されても、実際に移住するまでには時間がかかりますが、種まきの時期と考え、来年度も開催を検討しておられます。今後も地道に活動を続けていきたいと思いまだきました。

(大井川寄稿)